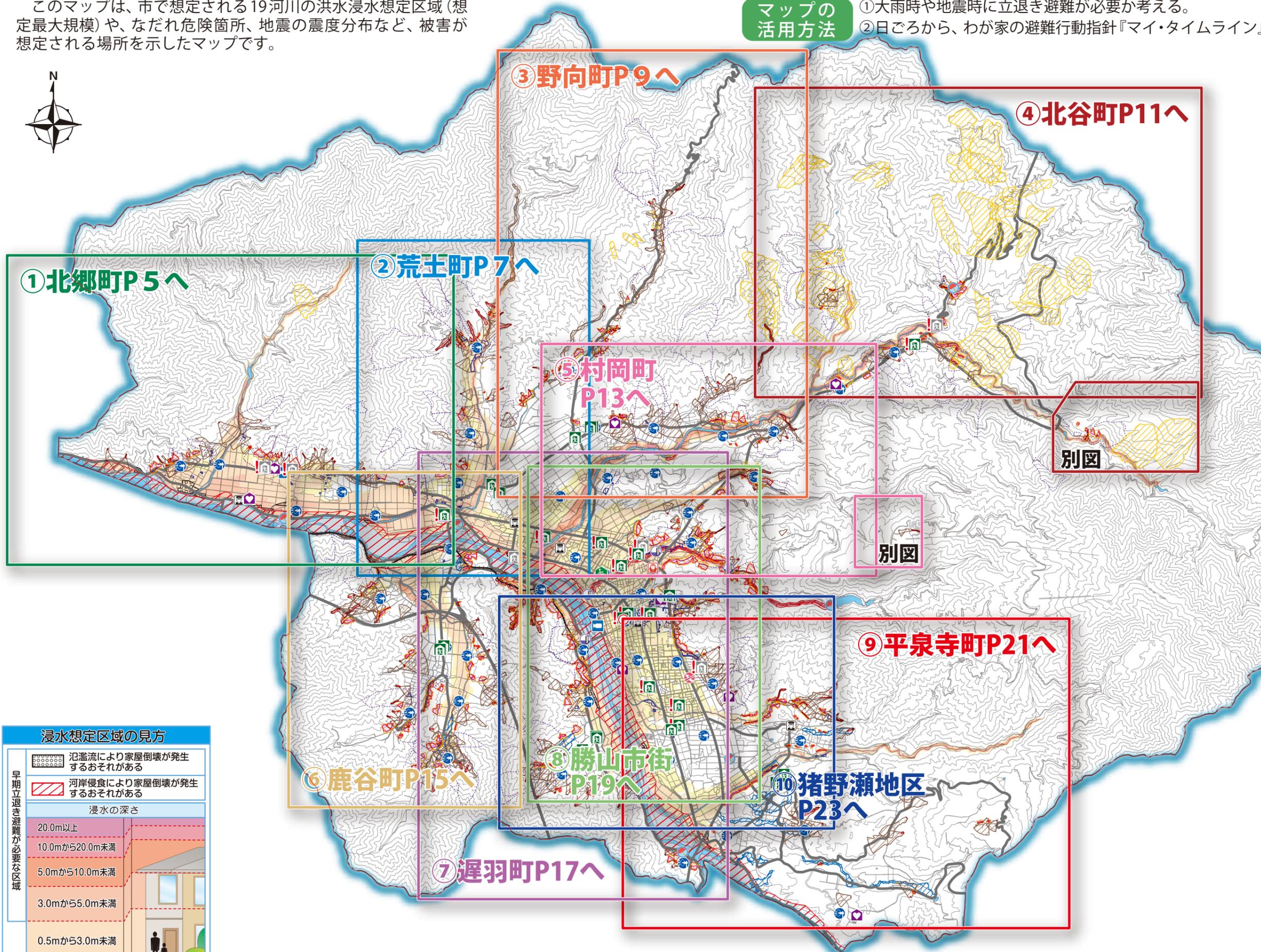


このマップは、市で想定される19河川の洪水浸水想定区域(想定最大規模)や、なだれ危険箇所、地震の震度分布など、被害が想定される場所を示したマップです。

マップの活用方法

- ①大雨時や地震時に立退き避難が必要か考える。
- ②日ごろから、わが家の避難行動指針『マイ・タイムライン』を作成し、災害に備える。



別図

別図

凡例

- 避難所
- 避難所(風水害時利用不可)
- 福祉避難所
- 印の避難所・福祉避難所は、なだれ時使用不可、または浸水想定区域内で建物の上階に避難する必要があります。1階建てで0.5m未満(床下浸水)の建物はそのまま1階で避難できます。
- ※1浸水想定内区内であるため垂直避難が必要な施設
- ※2なだれ危険箇所に位置する施設
- 要配慮者施設
- 防災行政無線
- 警察署・駐在所
- 消防署
- 市役所
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 地下道
- 土砂災害警戒区域等
  - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 土砂災害特別警戒区域(土石流)
  - 土砂災害警戒区域(土石流)
  - 土砂災害警戒区域(地すべり)
- 浸水実績
- ため池浸水想定区域
- なだれ危険箇所

浸水想定区域の見方

